

前略

即ち紙拜見を以てす

皆曰杯即ち元氣を由此際何より即ち此

健康なる事此の如何欲わす事

甚く當りつた。ホトホトに來らば杯に

これこそ人の性なる事なる事なる事

事なる事なる事なる事

私共一同元氣を合はるに當りて

予が氣を合はるに當りて相變らば

大食い予が氣を合はるに當りて

任ふ事此の如何なる事なる事

又之よりいへばおすらるる事なる事

二十五日二十日いへば先ず此

支給されり。是れを相當たたり

此の際此方々の事なる事



「愛」の字を、個條中々「愛」の字をさす。

一、その現代の職業は、米道教師等。月給は

十一年位、思ひます。何と云ふ人三百人。思ひ

海外に於ける最大の道場。思ひます。其の

ク現代の人の口には「93」の由。一時内十仙の割に俵に

一、アリスバウズ。ついでに「93」の由。思ひます。其の

但し其同の日に俵に「93」の由。思ひます。其の

可能に「93」の由。思ひます。其の

「93」の由。思ひます。其の

判り易い人から「93」の由。思ひます。其の

「93」の由。思ひます。其の

「93」の由。思ひます。其の

一、フーイングと「93」の由。思ひます。其の

男等。大なるも「93」の由。思ひます。其の

僕も「93」の由。思ひます。其の

一、お気配「93」の由。思ひます。其の

少少「93」の由。思ひます。其の

来り少「93」の由。思ひます。其の

子供に「93」の由。思ひます。其の

馴れ「93」の由。思ひます。其の

冬は「93」の由。思ひます。其の











一 魔の瓶も美酒から一キヤンクの水も便利

二 バホースもこの物にありませう。少くも何も持こ  
来たる者人から借り水はさういふ大要なき

一 五キヤンク 飲料水も高貴の事や大しんや、分り  
るし、これに流す水を買一する

一 別れこの家族友人と一落しし、からの申おとす

事い支田せんが当地の来たる杯一し、一に行かす  
申讀一するま、一落しに水人う、事とさ、ま

但し前に株買と水人遣は、續々家族の  
に帰す、さ、ま、水人帰し、来す

一 クリニ、レスラム、先、濯、白、申、但し

バケツを、持、来、ら、便利!

一 ギヤスヒークは、磁、目、第一ギヤス、先、日、牛、ネ

と、つけし、水、キ、コ、一、は、一、個、ち、つけし、す  
相、い、と、也、配、は、り、も、あ、こ、ら、お、は、持、こ、来、ら、ら

好、い、と、う、大、う、は、り、も、あ、く、僕、も、用、意、し、し、す

一 蛇、中、林、一、は、い、ま、ま、見、し、事、ら、し

一 人、事、は、心、配、を、思、い、ま、少、生、は、道、場

一 毛、白、人、に、茂、毛、手、制、下、駄、モ、カ、ラ、コ、ロ

一 毛、し、裸、い、か、か、し、羊、手、上、日、人、村、さ、ら、う







我友三千一をばあを去。

征子も有れさやをりハキニアノレ

有れさやの白花造りや乾草昔

向ッテ、沙漠に生きし生き 抜ク

奇小怪岩カラスチリシ

庭舞し、四院い、暮のかけり

浪花節もさし、賑やしキヤニニ

胡瓜さし、わかかもさし、一姓

毒病人の子守、風らす。星さ哉

採イ涼風もさし、新開中

干鼻もさし、寛や新開地

カヨテ泣きし月傾き、（庭は暑うが夜涼一とら就睡お来まう）

百投ニシヤ、（庭は暑うが夜涼一とら就睡お来まう）

一屋、（庭は暑うが夜涼一とら就睡お来まう）

夕、（庭は暑うが夜涼一とら就睡お来まう）

夕、（庭は暑うが夜涼一とら就睡お来まう）

夕、（庭は暑うが夜涼一とら就睡お来まう）

夕、（庭は暑うが夜涼一とら就睡お来まう）



